

令和7年度
朝霞市立朝霞第八小学校
グランドデザイン



【学校教育目標】

人間尊重の精神を基調とし、
知・徳・体の調和のとれた
健康で人間性豊かな子供の育成を目指す

学校の概要

創 立 昭和51年4月1日（50年目）
児童数 1,115名（4月1日現在）
学級数 36学級
職員数 52名（県費負担）

- ・日本国憲法・教育基本法・学校教育法
- ・第4期埼玉県教育振興基本計画
- ・学校教育法施行令及び同施行規則等
- ・文部科学省小学校学習指導要領
- ・「令和の日本型学校教育」の構築を目指して（中央教育審議会）
- ・次期教育振興基本計画の策定について（中央教育審議会）

- ・学校保健安全法・学校給食法等
 - ・令和7年度埼玉県教育行政重点施策
 - ・埼玉県指導の重点・努力点
 - ・第3期朝霞市教育振興基本計画
- 基本理念
「心豊かに生きる力を育む朝霞の教育」
- ◎保護者の願い
 - ◎地域の願い
 - ◎教師の願い

《目指す学校像》

教育は子供の未来づくり
— 児童に未来を生き抜く力の基礎を育てる学校 —

- ・子どもが主役である学校
- ・信頼される学校
- ・地域の中にある学校
- ・よりそいと優しさのある学校

《目指す児童像》

- 《かしこく》 ・よく聴き、よく考え、自分の言葉で表現できる子供
・自分で判断し、行動する子供
・友達と協力、協働し合い、考えを深められる子供
- 《やさしく》 ・相手の気持ちや状況を考えて、仲良く協力し合える子供
・元気に挨拶や返事ができ、ふれあいを大切にする子供
- 《たくましく》 ・困難にくじけず、最後までがんばろうとする子供
・めあてを持って、進んで運動に取り組む子供
・健康や安全に気を付けて生活できる子供

《目指す教師像》

- ・児童一人一人の意欲や可能性を引き出して伸ばす教師
- ・豊かな人間性を持ち、児童一人一人の心に寄り添う教師
- ・自らの心身の健康に留意をし、職務に全力を尽くす教師
- ・絶えず研修に努め、児童や保護者から信頼される教師

重点目標

1 確かな学力の向上

- 学ぶために必要な5つの力の育成
- 子供とともにつくる学習課題
- 協働的な学び、話し合いの充実
- オンラインドリル等の活用による基礎基本の定着
- ICT 機器の効果的活用と情報モラル教育の推進

3 健やかな体の育成

- 運動量を確保し、運動の楽しさを味わわせる体育授業の展開
- 新体力テストの結果を踏まえた体育授業の工夫改善（補強運動の実施）
- 自らの健康に関心を持ち、健康増進に励む食育の推進 ○運動の日常化

6 特色ある学校づくりの推進

- 学校運営協議会と連携した学校運営の推進
- 地域人材活用による授業の実践○学校ファームにおける体験活動の充実
- 地域施設を活用した教育活動の実施
- 保護者や地域の協力による見守り活動の充実

学校経営方針

- 1 全教職員の創意と知恵を活かしながら、学校教育目標の具現化を図る。
- 2 教育活動全体を通じて、児童理解に立脚した児童第一主義の教育を実践する。
- 3 児童一人一人が自分のよさに気づき、他者と認め合える教育活動を展開する。
- 4 児童が夢を持ち、その実現に向けて努力ができるよう、教育環境を整備する。
- 5 家庭や地域と連携を深め、地域に根ざした信頼される学校づくりに努める。

4 安全・安心な学校づくりの推進

- 地震・火災・不審者等の避難訓練実施 ○ショート避難訓練実施
- 安全な廊下歩行（走らない、騒がない、右側通行）の徹底
- 事故防止年間計画による事故未然防止の徹底

7 研究・研修の推進（人材育成）

- 学校運営への参画意識の向上 ○教職員事故根絶
- 教職経験やライフステージに応じた研修への意欲的参加
- 学校課題の解決を図り、教員相互理解を深める校内研修の推進
- 総合型校務支援システムの活用

5 生徒指導・教育相談の充実

- いじめの未然防止、早期発見及び解消率100%
- 支援や配慮を要する児童の把握と校内支援体制の充実
- 保護者との積極的な連携 ○個別の支援計画に基づく指導

8 働き方改革の推進

- 校務支援システムを活用した業務の効率化
- タイムマネジメントの視点での校務の見直しと意識改革
- 学校行事計画の改善

2 豊かな心の育成

- 道徳教育の充実による実践力の育成
- 育みたい力を踏まえた、異学年との交流や縦割り活動の充実
- 自治的な活動の充実
- 気持ちのよい、さわやかなあいさつ指導
- 読書活動及び読み聞かせの実施